

11月2日（土）、第2回景観まちづくりワークショップが行われました。今回は、第1回のワークショップで頂いた秩父鉄道行田市駅周辺エリアの強みと弱みを活かした意見を踏まえ、「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」の2つのテーマに沿った具体的な取組み内容について考えました。

「まち並みづくり」グループは、行田らしいまち並みづくりに向けた取組み提案として、**建築物や空き地を活用、改善するための取組み等**について、「にぎわいづくり」グループは商業や観光のにぎわいづくりに向けた取組み提案として、**資源をつなぎ、観光客が回遊するための取組み等**について意見を出し合いました。各グループで出た取組み内容について発表を行い、情報共有をした後は、参加者の方々が重要と思う取組みについて、シールを貼っていただきました。



写真：ワークショップの様子

## 〈ワークショップ参加者から頂いた取組み内容の主な概要〉

※重要度が高かった順に、取組み内容を表しています。

### ○ まち並みづくりについて

#### ソフト的な取組み

- 高
- ・空き地を仮設のカフェ等で一時的に利用する。
  - ・住民のまち並みに対する意識や関心を高める方法を考える。
- 重要度
- ・具体的な方針や目標をつくる。
  - ・多くある寺社仏閣を観光化する。
  - ・小さな路地や旧北谷横丁を活かせるように、情報発信を行う。
  - ・空き店舗の活用を促すために、税金の軽減等の措置を行う。
- 低
- ・足袋蔵をイベントで活用する。 など

#### ハード的な取組み

- 高
- ・空き店舗、空き家を活用する。
  - ・新町商店街のアーケードの撤去による商店街のまち並みづくりを行う。
  - ・まち並みに溶け込むような案内板や商店の看板を設置する。
  - ・空き地に植物を植える。
- 重要度
- ・足袋蔵や小さな路地等の整備を行う。 など

### ○ にぎわいづくりについて

#### ソフト的な取組み

- 高
- ・回遊ルートの整備やテーマ別のルートをつくる。
  - ・まちなかににぎわいづくりに向けたコンセプトをつくる。
  - ・住民による仕組みづくりや住民意識の醸成を行う。
  - ・わかりやすく、活用し易いマップの整備を行う。
  - ・空き地、空き家、空き店舗を活用し易い様に、出店希望者、利用希望者への支援を行う。
- 重要度
- ・観光資源やイベント、まち並みについての情報発信を行う。 など
- 低

#### ハード的な取組み

- 高
- ・空き店舗、空き家を飲食店、休憩所、観光案内所等として活用する。
  - ・歩きやすく、移動しやすい環境の整備を行う。
  - ・空き地をイベント時に利用できる場所や駐車場として活用し、レンタサイクルの設置を行う。
  - ・名所旧跡や資源の歴史がわかる案内板を設置する。
  - ・宿泊施設、飲食店、トイレ等といった滞在できる場所の整備を行う。
- 重要度
- ・商店街や街なか等でイルミネーションを実施する。 など
- 低